

糖尿病(とうようびょう)は「尿に糖が出る病気」なの？ ①

今回号からのフジタガンカニュースでは、前号での予告どおり「糖尿病網膜症」についての解説をする予定です。しかしこの病気は、まず最初に内科で診断や治療をする「糖尿病」があって…その病気の合併症として眼科の病気を生じるという事なので、まずは内科疾患の「糖尿病」についての理解が必要となります。(稀には最初に視力不良を感じて眼科を受診、診察後に「糖尿病疑い」と診断され…内科に紹介されてみたら「実は糖尿病でした」って事はあり得るんですが、そんな場合でも実際の病気としては糖尿病が先で、たまたま糖尿病が見つかる前に視力が下がって眼科にかかってしまったという事、目が先に病気を生じているわけではないんですよ。)という訳で…京王八王子駅近くの糖尿病専門の内科クリニック「みょうじん糖クリニック」さんの、ホームページの解説文の引用させて頂きます。

糖尿病とは？

糖尿病は、インスリンの働きが低下することによって発症する病気です。糖尿病というと「尿に糖が出る病気」と考えられがちですが、これは糖尿病の一つの症状にすぎません。

重要なのは、血液中の糖分(血糖)が異常に高い状態(高血糖)が続く事です。高血糖を放っておくと、眼や腎臓の障害、心筋梗塞や脳梗塞を起こし易くなります。膵臓から出るインスリンの量が少なかったり、インスリンの働きが低下したりすると、身体が血糖を利用する事ができなくなり、その結果、高血糖が引き起こされるのです。そこで、糖尿病の治療はインスリンの出を良くしたり、インスリンの働きを改善させる事が目的となる訳です。そのためには、まず食事療法、運動療法をきちんと行い、その上で、薬物療法を適正に行うことが必要となります。

糖尿病と診断されるまでの検査

1. 空腹時血糖値

前日の夕食後、何も食わず翌朝、血糖値を測ります。

2. ブドウ糖負荷試験 2時間値

10時間以上絶食した状態で1度目の採血。

次に75gのブドウ糖液を飲み、その2時間後に再び血糖値を測定します。

3. 随時血糖値

食事の影響を考えず、血糖を測定します。

1と2の検査結果により、正常型、境界型、糖尿病型の3つに分類することができます。

血糖管理に気をつけて、今までどおりの生活を

糖尿病は一生つきあっていかなければならない病気です。

しかし悲観的なることはありません。きちんと治療を続け、血糖値を良好にコントロールしていれば、仕事も続けられますし、出産することもできます。

空腹時血糖値 110mg/dL 未満、食後 2 時間血糖値 140mg/dL 未満を目標に血糖コントロールを続けていきましょう。

今回のフジタガンカニュースは以上です。糖尿病の診断は「尿に糖が出る事」ではなく「血液中の糖分が高くなる事」で診断されるのですね、次号も引き続き糖尿病についての解説を掲載する予定です、お楽しみに(^-^)/

今月のお知らせ

H29年夏期休診日程

	8/9	8/10~17	8/18
AM	○	×	○
PM	○	×	○
※×…休診 ○…通常診療			



<http://www.fujita-ganka.com>

当院にて4月24日-26日の3日間に配布したフジタガンカニュースには夏季休診日程の誤記載がありました。上記の日程は訂正後のものとなります、ご注意下さい。

また、10月13日(金)午後と10月14日(土)は院長が日本臨床眼科学会出席のため当院は休診、11月17日(金)午後には院長が10小の就学時健診に出席するため当院は休診となります。ご迷惑をお掛け致しますが、宜しくお願い致します。



042
(645)
0575
042
(642)
2911